

平成29年度秦野市伊勢原市環境衛生組合の財務書類【概要版】

全国統一的な基準による財務書類等を作成するよう国から要請されたため、固定資産台帳の整備を行い、地方公会計制度（複式簿記）を導入しました。この制度は、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に取り組んでいくことを目的としています。資産や負債などのストック情報により、正確な経営状況を把握でき、また、他団体との比較が可能となります。

一部事務組合である本組合では、平成28年度決算から「統一的な基準による財務書類」を作成しています。

貸借対照表

(B/S) Balance Sheet

平成30年3月31日現在

単位：千円

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	9,980,442	固定負債	5,976,440
有形固定資産	9,503,175	地方債	5,772,557
無形固定資産	—	退職手当引当金	198,883
投資その他の資産	477,267	その他	5,000
流動資産	87,283	流動負債	481,572
現金預金	87,283	地方債(1年以内償還予定)	458,786
未収金	—	賞与等引当金	22,677
徴収不納引当金	—	預り金	109
その他	—	負債の部 計	6,458,012
		【純資産の部】	
		純資産	3,609,713
資産の部 計	10,067,725	負債及び純資産の部 計	10,067,725

資産は約101億円、負債は約65億円

貸借対照表は、会計年度末時点における財政状態（資産、負債、純資産の残高及び内訳）を表示したものです。主な「資産」は、土地や建物などの現在保有している有形固定資産です。主な「負債」は、はだのクリーンセンターや秦野斎場の施設整備の際に、世代負担を平準化するために借り入れた地方債です。

平成29年度は、前年度に比べ、資産が約2億円増、負債が約8億円増となったため、純資産は約6億減となっています。

市民一人当たりの資産額 約38千円、負債額は約25千円

平成29年12月31日現在の住民基本台帳人口（秦野市162,296人、伊勢原市100,518人）を用いて算出しています。

行政コスト計算書

(P/L) Profit and Loss statement

平成29年4月1日～平成30年3月31日

単位：千円

経常費用	2,834,466
人件費	308,504
物件費等	2,429,842
その他の業務費用	42,940
移転費用	53,180
経常収益	2,463,779
臨時損失	398,932
臨時利益	—
純行政コスト	769,619

純行政コストは約8億円

行政コスト計算書は、一会計期間中の費用、収益の取引高を表示したものです。ごみ処理や斎場の運営にかかった「費用」や、その対価として得られたごみ処理手数料や斎場使用料などの「収益」が、1年間でどのくらいだったかを示しています。

平成29年度は、約28億円の「費用（経常費用）」に対し、約25億円の「収益（経常収益）」でした。「臨時損失」は、残留焼却灰等除去工事に伴う費用です。

費用・損失と収益・利益との差額である「純行政コスト」約8億円の財源は、県補助金約2億です。不足分約6億円については、「純資産」が減となっています。

純資産変動計算書

(N/W) Net Worth statement

平成29年4月1日～平成30年3月31日 単位：千円

前年度末純資産残高	4,215,044
純行政コスト	△ 769,619
財源	164,288
税収等	—
国県等補助金	164,288
本年度差額	△ 605,331
資産評価差額	—
無償所管換等	—
その他	—
本年度純資産変動額	△ 605,331
本年度末純資産残高	3,609,713

純資産は約6億円の減

純資産変動計算書は、一会計期間中の純資産及びその内部構成の変動を表示したものです。貸借対照表中の「純資産」が1年間でどのように変動したかを示しています。

平成29年度の「純資産」は、前年度から約6億円減の約36億円となっています。これは主に、秦野斎場増築改修工事に伴い地方債を借り入れたことによる負債の増によるものです。

資金収支計算書

(C/F) Cash Flow statement

平成29年4月1日～平成30年3月31日 単位：千円

業務活動収支	374,084
業務支出・臨時支出	2,141,498
業務収入・臨時収入	2,515,582
投資活動収支	△ 1,224,823
投資活動支出	1,754,525
投資活動収入	529,702
財務活動収支	801,856
財務活動支出	455,044
財務活動収入	1,256,900
本年度資金収支	△ 48,883
前年度末資金残高	136,057
本年度末資金残高	87,174
本年度末歳計外現金残高	109
本年度末現金残高	87,283

平成29年度単年度の資金収支は約0.5億円の赤字

平成29年度末の現在預金残高は約0.9億円

資金収支計算書は、一会計期間中の現金の流れ（受払い）を3つの区分で表示したものです。1年間で、どのような活動に「資金（現金預金）」を使ったかを示しています。

平成29年度中の業務活動では、人件費、減価償却費用を含む物件費等、公債費の利息や残留焼却灰等除去工事に伴う費用約21億円を支出し、使用料及び手数料など約25億円を収入しました。

平成29年度中の投資活動では、秦野斎場増築改修工事の費用を約14億円支出し、県補助金を約1億円収入しました。また、基金を約3億円取崩し、約4億円積み立てました。

平成29年度中の財務活動では、地方債を約5億円返済し、約13億円借り入れました。

平成29年度単年度の資金収支は、約0.5億円の赤字ですが、これは前年度からの繰越金等で補填しています。

(注) 本組合の収入約44億円のうち約4割は、構成市である秦野市及び伊勢原市の分担金によっています。公会計における分担金は、「使用料及び手数料」の科目となり、P/Lでは経常収益に、C/Fでは業務収入に含めています。